

県政を
身近に

あらい絹世の磯っ子レポート

県議会議員

新「神奈川県立がんセンター」の オープンむけて

横浜市旭区二俣川にある県立がんセンターでは平成25年11月の新病院の開院を目指し、建て替え作業が進められています。新しいがんセンターでは診察室を32室から56室に増やし外来待ち時間を短くする、手術室を6室から12室に増やし待機患者を減らすため新たな整備に取り組んでいきます。また、新がんセンターの敷地内には重粒子線治療施設「i-ROCK（アイロック）」が設置され、平成27年12月の治療開始を目指し整備を進めています。重粒子線治療とは重粒子線のがんに照射する放射線治療の一つで、副作用が少なく今までの放射線治療では治りにくいがんにも効くという特徴がありますが、装置や稼働施設にかかる費用がずば抜けて高く、また装置が大掛かりなため、現在の重粒子線治療施設は千葉県の重粒子医科学センター病院、群馬大学、兵庫県立粒子医療センターの3箇所のみで、「i-ROCK」は建設中を含むと全国で5箇所目の施設となります。この重粒子線治療は、正常な細胞を傷つけにくく患者さんの体への負担が軽く、副作用の少ない治療ができるため、手術が困難な疾患や高齢者の方などの治療も可能です。また治療を受ける場合入院せず、仕事をしながら外来通院での治療ができます。

神奈川県では国に先立ち、平成17年3月に「がんへの挑戦・10か年戦略」を策定、平成20年3月には県議会議員の総意の下「神奈川県がん克服条例」を制定し同年4月に施行されました。「がんへの挑戦・10か年戦略」は平成25年4月に新たな計画の見直しが行われますが、平成27年に完成を迎える全国でも5施設目の県立がんセンターの重粒子線治療施設での治療を計画に織り込むなど、県の特性を生かし神奈川県が『がん撲滅先進県』となるよう今後も取り組んでまいります。

新しいがんセンターの整備方針

- (1) 外来待ち時間を短くし、待機患者を減らします。
- (2) 高度、最新のがん医療を進めます。
- (3) 療養環境を改善します。
- (4) 都道府県がん診療連携拠点病院の規範となる病院を目指します。
- (5) 患者に優しく質の高い医療を提供します。



新たにオープンする「がんセンター」のパス

あらい絹世プロフィール

- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 横浜雙葉小・中 / 高等学校卒業
- 平成23年4月 県議会議員初当選
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 厚生常任委員
- 日商岩井(株) / (株)メタルワン
- 社会問題対策特別委員
- ホノルルマラソン / 東京マラソン 完走



新春の集い

成田詣とちょっと懐かしい東京タワー見学

日にち:平成25年1月19日(土)

新春の集い:成田市内ホテル

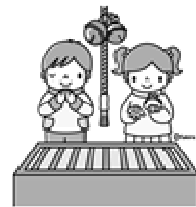
会費:7,500円

行程:区内発==成田山新勝寺参拝==

新春の集い(成田東武ホテル)==

東京タワー見学==区内着

問い合わせ先:あらい絹世後援会事務所/堀川 TEL:751-5250



議会あれ?これ?

議会が意志決定することを「議決」といいますが、

- ・「可決・否決」:予算や条例、意見書、決議などの議案について議決する場合
- ・「同意・不同意」:副知事の選任などの人事案件について議決する場合
- ・「認定・不認定」:決算案件について議決する場合
- ・「採択・不採択」:請願の内容について議決する場合

以上のように、議決される事柄の内容によって、さまざまな呼び方に使い分けています。

なお、議決は、通常、出席議員の過半数で決しています。

次回の お題は「お餅」

貴方の川柳を次号「あらい絹世の磯っ子レポート」に掲載します。

- ・匿名、イニシャルで結構です。
- ・お住まいの町名、差し支えなければお名前をお書き下さい。
- ・お申し込みはFAXで(締め切りは12月27日です)
- ・残念ながら賞金・賞品の提供はございません。

時節の川柳大募集

先月のお題は「鍋」
沢山のご投稿有り難う
ございます

鍋かこむ
もうすぐ師走と
気も走る(Sさん)

もうあきた
今夜も鍋か
流い顔(和子さん)

新党が
お鍋の中で
談合する(げっさん)

鍋奉行
吾段は家来の
父登場(横浜むすめ)